

『ピースプロジェクト』2024 年度活動報告書

2025 年 5 月

特定非営利活動法人ピースプロジェクト

理事長 加藤勉

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの活動報告書です。

1 月 1 日に発生した『能登半島大震災』の支援活動を引き続き行いながら、5 月 5 日に以前は南相馬市で開催していた『子どもまつり』を今年は珠洲市で開催することに急遽決定しました。

この決定には南相馬市の関係者から「今年は能登半島の支援をしてください」との想いを受けての決定となります。能登半島支援では 8 月に小学生を軽井沢キャンプに連れて行ったり、8 月末の飯田高校の学園祭に鈴木千裕選手をサプライズ出演してもらったり、12 月 1 日に『上田正樹チャリティライブ』を開催しました。しかし、9 月に発生した豪雨災害で震災を乗り越えた家が洪水で大きな被害に遭われたのを受け、ピースプロジェクトとしても再度の緊急支援を行うことになりました。この 1 年はほぼ能登半島支援の年だったと言い換えることが出来ます。

私たちの支援活動には皆さまのご協力が必要です。何卒よろしくお願い申し上げます。

【銀行振込によるご寄付】

<https://www.peace-project.net/support/>

からピースプロジェクトのホームページ経由でお願いします。



【クレジットカードを使ってのご寄付】

my-site-101609-107137.square.site



『ピースプロジェクト』Facebook ページ：

<https://www.facebook.com/peaceproject1004/>

(2024 年 3 月 31 日までの活動総累計 496 回、130,247 人)

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日までの活動回数 70 回、総受益者数 10,351 人)

2024 年 4 月 5 日（水）～7 日（日）能登半島大震災支援活動第 9 陣。

場所：石川県珠洲市『若山小学校（避難所）』

協力：AAR ジャパン、DIG グループ、地元ボランティアの皆さん

第 9 陣活動回数 7 回、提供数 870 食（能登支援活動累計 70 回、累計提供数 9,547 食）

（活動総累計 503 回、131, 117 人）

第 8 陣と同じく 2 名体制での活動スタートとなりました。今回ドタ参はありませんでした。

地元のボランティア『美女軍団』頼みとなった活動ですが、前回もお手伝いしてくれた新中学生のこっちゃんが土日にはお手伝いに来てくれています。将来のピースプロジェクトを託したいと勝手に考えています。

5 日朝、自宅を出る時は陽気で暖かかったのですが、珠洲市に到着するとジャンパーなしでは過ごせないほどの寒さでした。またこの日は入学式でした。たったひとりの新入生です。

活動 2 日目にはなんと、福岡県警のお巡りさんも炊き出しお手伝いしてくださいました。聞くと『生活支援部隊』だそうで、家の片付け等やれることは何でもやるそうです。

今回の活動の目玉は『サーティワンアイスクリーム』です。珠洲市の方に情報共有したところ「もの凄い行列が出来る」と困るので“おやつ炊き出し”として Line に流します」とのことでした。

でも実際、キッチンカーが市内を走っている姿を見て「サーティワンがやってきた！！」とざわつき、小学校に到着するやいなや行列が出来るほどの人気ぶりでした。用意された 100 個はものの 30 分で完売しました。



2024 年 4 月 13 日（土）第 42 回ピース食堂開催しました。

場所：東京都足立区『博多もつ鍋げってん』

協力：ボランティアの皆さん、足立区子ども食堂支援協議会

提供数 126 食

（活動総累計 504 回、131,243 人）

第 42 回目となるピース食堂無事終了しました。

本日のメニューは春らしく『ちらし寿司、スペアリブ、花見団子、すまし汁』でした。

なんとサーティワン様からアイスクリームケーキのご提供をいただきました。これには並んでいた人たちも大喜び。整理券を受け取った後に美味しそうに召し上がってました。

他にも足立区子ども食堂支援協議会様から大量のお野菜を Dole さまから新鮮なバナナをみよちゃん様、早坂様から子どもたちへのお菓子を御寄贈いただきました。

スペアリブもちらし寿司も手前味噌ですが美味しく出来たと思います。

きっと子どもたちも喜んでくれたでしょう。

キックボクシング体験にはタンタンファイトクラブからチャッピー選手、ヒロヤ選手、高校一年生の選手に来てもらいました。キック体験は行列が出来るほどの盛況ぶりでした。

ピース食堂用に近くのレンタル倉庫を借りているのですが、いつもワゴン車で何度も往復して荷物を運んでいましたが、先日『カゴ台車』を導入する事で作業が大幅に軽減する事が出来ました。

これからも色んな知恵、アイデアを取り入れて、より美味しく、より楽しいピース食堂にしていきたいと思います。



2024 年 4 月 14 日（日）～17 日（水）能登半島大震災支援活動第 10 陣。

場所：石川県珠洲市『若山小学校（避難所）』

協力：AAR ジャパン、DIG グループ、地元ボランティアの皆さん

第 10 陣活動回数 7 回、提供数 640 食（能登支援活動累計 77 回、累計提供数 10,187 食）

（活動総累計 510 回、131,883 人）

2 名体制が続いた活動ですが、今回は沖縄 DIG グループから 2 名、岡山の李さん加えて総勢 4 名での活動となりました。人数もそうですが、DIG グループの 2 人はプロの料理人です。避難所にいる人からも小学校の校長先生からも「ピースさんの炊き出しはレベルが違う」と絶賛されています。

今回の活動は悲しいお知らせから始まりました。第 1 陣からお手伝いしてくれていた“さっちゃん”の旦那様が 10 日にお亡くなりになったと聞かされていました。そのさっちゃんと会った瞬間にハグして「大変だったね」と声をかけると「心配してくれてありがとう。でも大丈夫」との返事。

14 日の夜に、美女軍団のひとり賀奈子さんのご自宅である正福寺で“花見”をするというのでお呼ばれしました。さっちゃんにも声をかけて一緒に行くことに。さっちゃんの旦那様がこのお寺に預けられているので、最初にご挨拶してお花見モードに突入しました。さっちゃんは張っていた緊張が解けたみたいでお酒を美味しそうに飲んでいました。ピースプロジェクトのふれ合い支援活動はこういう場面でも役立つと思いました。

15 日のランチに初めて『サンドイッチ』を作りましたが、10 枚切りで作ったサンドイッチ 1 セットでは少し物足りない感じでした。次回以降気を付けます。

5 月 5 日に行う『子どもまつり』の広報のため、全避難所と市役所を訪問、チラシ配布し、市長表敬訪問しました。



2024 年 4 月 21 日（日）～24 日（水）能登半島大震災支援活動第 11 陣。

場所：石川県珠洲市『若山小学校（避難所）』

協力：AAR ジャパン、DIG グループ、地元ボランティアの皆さん

第 11 陣活動回数 7 回、提供数 580 食（能登支援活動累計 84 回、累計提供数 10,767 食）

（活動総累計 517 回、132,463 人）

4 名でスタートするはずが病気等で 2 名不参加、またもや 2 名でのスタートかと思いましたが、AAR ジャパンから 2 名参加していただき、万全の 4 名でスタートしました。日曜日はこっちゃん親子にも来てもらいました。

今回の提供メニューはネット等で少し研究して野菜を多く摂れる中華丼や炒めないチキンライス等新たなことにもチャレンジしました。

元パンクラスウェルター級チャンピオンの宇良健吾選手は小松在住で、仕事休みの月曜日にはいつもお手伝いに来てくれます。パワーも体力もたっぷりなので頼もしい助っ人です。

今回の目玉は『ラーメン香月』のラーメンです。事前にお店の方と入念に打ち合わせをして、ラーメン用の器具もお借りして、麺は 1 分茹でで伸びにくいモノを選択。太郎さんに茹でをお願いして、120 食完売しました。皆さん、「久しぶりに美味しいラーメン食べた」と喜んでくださいました。

炊き出し終わりでホッとしていると「ピースさん体育館に来てください」とまたもやどこかで聞いたことのある呼びかけが、、、体育館に行くと全校児童が整列しています。

児童 2 人が代表して「長い間、私たちのために美味しい炊き出しをありがとうございました」とお礼の言葉を言ってくれます。嬉しいサプライズに思わず涙してしまいました。次回の活動が連休にかかるので学校として会える最後の日にお礼がしたかったとのことでした。



2024 年 5 月 3 日（日）～6 日（水）能登半島大震災支援活動第 12 陣。

場所：石川県珠洲市『若山小学校（避難所）』

協力：AAR ジャパン、DIG グループ、地元ボランティアの皆さん

第 12 陣活動回数 7 回、提供数 2,844 食（能登支援活動累計 91 回、累計提供数 13,611 食）

（活動総累計 524 回、135,307 人）

『能登半島支援活動』最後の活動となる第 12 陣です。活動のメインは 5 日に行う『子どもまつり』です。その為に東京、熊本、岡山と全国から仲間が駆けつけてくれました。3 日は夕食『肉野菜炒め弁当』、4 日には『こどもまつり』の準備をしながら炊き出し（昼はハヤシライス、夜はコロッケ弁当）、5 日の『子どもまつり』は別ページにて報告いたします。

『子どもまつり』翌日は嘘のように強風が吹き荒れて、とてもこの日だと鯉のぼりはもたない状況でした。運の良さを味方につけて、6 日の炊き出し（具だくさんうどん）を提供して全炊き出し活動を終えることが出来ました。

活動終えて帰途につく際、さっちゃんはじめ地元の方とのお別れは後ろ髪惹かれる思いでした。



2024 年 5 月 5 日（火祝）『子どもまつり 2024 in 珠洲』を開催しました。

日時:2024 年 5 月 5 日(日祝)午前 10 時開始

場所 石川県珠洲市立若山小学校

石川県珠洲市若山町古蔵 11 の部 100 番の1

主催 認定 NPO 法人ピースプロジェクト

共催 認定 NPO 法人AARジャパン、MDRTジャパン、武蔵村山さいとうクリニック

協力 BRサーティワンアイスクリーム株式会社、一般社団法人 Miraie、ジョンソンヴィル・ジャパン合同会社、Newell Japan 合同会社、株式会社 NATTYSWANKY ホールディングス、スマイルタンク株式会社、チームエース、株式会社システムサービス、有限会社ダディーズオピニオン、INSPIRIT、LA GYM JAPAN、クロスポイント吉祥寺、FELIC 株式会社、株式会社モリ・フロッキー、株式会社アートウエルド、FTL ジャパン株式会社(順不同)

参加者 推定 900 名

全国から集まった鯉のぼり 200 匹

子どもまつり参加者数 900 人(能登支援活動累計 91 回、累計提供数 14,511 食)

(活動総累計 524 回、136,207 人)

【スペシャルゲスト】

RIZIN フェザー級チャンピオン鈴木千裕選手

【アトラクション】

ふわふわ遊具、スーパーボールすくい、輪投げ、キックボクシング体験、バルーンアート

【飲食提供】

焼きそば 674 食、サーティワンアイスクリームケーキ 480 食（完売）、ダンダダン餃子 400 食、フランクフルトソーセージ 570 食（完売）、かき氷 400 食

【ビンゴゲーム】

大人の 1 位（地元スーパーダイマルの商品券 1 万円）、大人の 2 位（地元スーパーダイマルの商品券 7 千円）、大人の 3 位以下、コールマン提供のアウトドアグッズ、アートウエルド社提供デイパック等

子どもの 1 位（アートウエルド社提供デイパック）、子どもの 2 位以下（システムサービス社提供キャラクターグッズ）、BRサーティワンアイスクリーム様より US J グッズ一式、フェリック社提供トートバッグ（140 枚）その他多数

【その他の提供物】

BRサーティワンアイスクリーム様より『プレッツェルショコラ』500 箱、
認定 NPO 法人 A A R ジャパン様より『六花亭チョコレート』300 箱

本イベントは、本来東日本大震災翌年の 2012 年に陸前高田市の箱根山伝承館の館長から「陸前高田も津波で凄い被害を受けたが、ここ伝承館は山にあるので被害を受けずに済んだ。この施設を使って子どもたちの為に何か出来ないか？」という相談をいただいて、ピースプロジェクトが音頭をとって始めた子ども支援イベントです。

2013 年まで陸前高田市で開催しましたが、注目を集めるイベントだっただけに、関係する団体が多数名乗りを上げたため、私たちがいなくても運営出来ると判断し、2014 年から“放射能の影響が濃い”福島県南相馬市に場所を移して開催するようになりました。コロナ禍の 2020 年、2021 年を除き恒例イベントとして地元に着した活動になっています。

今年に関しては、当初『能登半島震災支援活動』を中心に活動していたため、『子どもまつり』そのものの開催を考えていませんでした。

ある時、南相馬市のキーパーソンから「今年の子どもまつりは無理だね？ やるんだったら能登半島で開催してあげてください」と電話をいただきました。3 月の終わりです。その時も「能登半島でやるのは難しいよな」と半ば諦めていました。

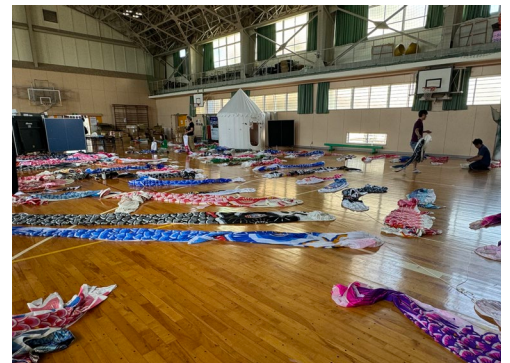
数日後に「ピースプロジェクトの理念は“子ども支援”、やれることはやろう！！」と決めて、若山小学校の校長先生や市役所の方々と開催する方向で相談をはじめました。すでに 4 月に入っていました。

人気のある『遊具』は既に予約で埋まっていたが、大きな『ふわふわ遊具』をひとつ確保することが出来ました。

次に人手、つまりボランティアさんの人数を確保するために SNS 等を使って声をかけ始めました。地元の皆さんは自宅の修理等で中々時間を確保するのが難しいと聞いていたので、出来るだけ他府県のボランティアを集めようと動き出しました。イベントの“華”となる鯉のぼりも集め始めました。使い古しの鯉のぼりに激励メッセージを描いてもらいピースプロジェクトに送ってもらうメッセージを拡散しました。

しかし、2 週間経っても 20 本しか集まりません。何度も投稿し、多くの人にシェアしてもらいますが、中々数字が伸びません。

すると数日後、MDRT(生命保険の団体)から「地方のメンバーが声かけて 20 本集めました」とか、熊本地震でお世話になった当時の校長先生から「熊本の人に声かけて 30 本集めたのでボランティアがてら持っていきます」「沖縄からも 10 本送ります」と嬉しい報告が続々届き始めました。



5 月 4 日には目標の 150 本を超えて 200 本の鯉のぼりが若山小学校の体育館に並べられた時、熱い想いが胸をたぎりました。多くの鯉のぼりに「頑張ってください！！」「諦めないで！！」「私たちも一緒です！！」と温かいメッセージが添えられています。

そしてボランティアも熊本地震の時に活動した小学校の校長先生、西日本豪雨被害支援活動と一緒に活動してくださった仲間、その他日本中から熱い気持ちを持った方々が駆けつけてくださり、合計 51 名の市外ボランティア、30 名の地元ボランティアの皆さんに集まっていただくことが出来ました。

『子どもたちの笑顔の為に』集まっていたことに心から感謝申し上げます。

「珠洲市でこんなに人が集まるイベントは初めて見た！！」と言っていただけのことを申し添えておきます。



2024 年 5 月 18 日（土）第 43 回目ピース食堂開催しました。

場所：東京都足立区『博多もつ鍋げってん』

協力：ボランティアの皆さん、足立区子ども食堂支援協議会

提供数 125 食 （地域提供数 100 食、障害者施設 25 食）

（活動総累計 525 回、136, 332 人）

今回のメニューは春野菜パスタ、と銘打っておりましたが買い出しの時に安かったズッキーニなども加えたので、「初夏のパスタ」となりました！加えて初トライのドラムチキン。鶏の手羽元を下味付けてカリッと揚げ焼きにしたものでこどもがかぶりつくように仕上げました。当初予定していたハムポテサラダは普通のハムになりました！！気温が高くて大丈夫なマヨネーズを使用しないドレッシングでさっぱり仕上げのお味です。

外イベントに来てくださった選手はボクシング元 IFBA 世界スーパーライト級王者。元 WIBA 世界ライト級王者。元 WIBA 世界フェザー級王者でもあり、その後キックボクシングで RISE 出場、さらに、総合格闘技にも出場中のライカ選手。そして、現在一児のパパとして格闘技だけでなく子育てにも奮闘中の堀内佑馬選手。夏日の気温にもかかわらずたくさんの子供たちの体験を盛り上げてくださいました！

ピース食堂は他の団体に比べて男性率が高いのも特徴だと思っていたのですが、このところ学生さんの参加も増えており、次世代に活動をつなげていく場としての役割も大事な要素になってきています。

さて、いつも通りピース食堂ゆるキャラまじんくんからは子供たちへのお菓子の提供、そして提供に間に合わなかったのですが、元げってんオーナーの酒依様より飲料とお菓子のご寄贈もいただきました。足立子ども食堂支援協議会様を通じて Dole 様よりバナナもご支援いただきました！



2024 年 6 月 15 日（土）『RISE ファミリープロジェクト』を開催しました

場所：大阪市『エディオンアリーナ』

協力：RISE クリエーション、九島カメラマン

受益者 26 人

（活動総累計 526 回、136,358 人）

大阪エディオンアリーナ(大阪)で『RISE ファミリープロジェクト』を開催しました。

今回は大阪なので、大阪、和歌山の施設に声をかけ集まってもらいました。残念なことに、渋滞に巻き込まれて和歌山の施設の子どもたちが選手との記念撮影に間に合いませんでした。

それでも RISE 伊藤代表が原口選手、ペイノア選手、門口選手、アンカー祐樹さんを招いていただき子どもたちと一緒に記念撮影することが出来ました。ピースメンバーの生駒純司さんにもご参加いただきました。

RISE の皆さん、選手の皆さん、撮影していただいた九島さん、ご協力本当にありがとうございました。



2024 年 6 月 22 日（土）第 44 回目ピース食堂開催しました

場所：東京都足立区『博多もつ鍋げってん』

協力：ボランティアの皆さん、足立区子ども食堂支援協議会

提供数 129 食 （地域提供数 100 食、障害者施設 29 食）

（活動総累計 527 回、136,487 人）

本日のメニューは『とうもろこしご飯、トンテキ弁当』でした。

スペシャルメニューとしてサーティワン様からアイスクリームケーキのご提供をいただきました。

とうもろこしは、河村様から静岡県で獲れた『甘甘娘（かんかんむすめ）』をいただいた直後に茹でて冷凍保存したものをたっぷり使わせていただきました。召し上がった方々から「めちゃくちゃ美味しい」と絶賛のお言葉をいただきました。とうもろこしごはんに使用したお米は、毎年ご支援いただく足立ロータリークラブ様より、被災地支援で購入されたという石川県産のお米を使用いたしました。

キックボクシング体験には先日のパンクラス でクイーンオブパンクラシストになった SARAMI 選手、若干 17 歳の総合格闘家、橋本リズム選手に来てもらいました。2 人とも子どもが大好きだそうで楽しそうにミット体験をさせてくれました。

他にも足立区子ども食堂支援協議会様から大量のお野菜をみよちゃん様、早坂様から子どもたちへのお菓子を御寄贈いただきました。皆さんに感謝申し上げます。



2024 年 6 月 23 日（日）鈴木千裕選手プロジェクト(後の『イナズマ ⚡ スピリット』)を開催しました。

場所：東京都『代々木第二体育館』

協力：Nockout、吉祥寺クロスポイントジム

受益者数 30 人

（活動総累計 528 回、136,517 人）

代々木第二体育館で開催されている格闘技イベント『knockout』で鈴木千裕選手のプロジェクトを開催しました。鈴木千裕選手は能登半島珠洲市での炊き出しや『子どもまつり』に参加してくれ、ピースプロジェクトの活動内容に賛同してもらっています。

今回は自ら出場する試合に子どもたちを招待していただき、試合直前の忙しい時にもかかわらず、子どもたちのために時間を割いてくれました。

それどころか、サインやツーショットにも応じてくれる余裕を見せてくれました

また写真撮影には第一試合に出場した般若選手も参加してくださいました。

両選手に心から感謝申し上げます。



2024 年 7 月 13 日（土）第 45 回目ピース食堂開催しました

場所：東京都足立区『博多もつ鍋げってん』

協力：ボランティアの皆さん、足立区子ども食堂支援協議会

提供数 116 食 （地域提供数 100 食、障害者施設 10 食、児童施設 6 食）

（活動総累計 529 回、136,633 人）

まず天気が心配されましたが、不安を吹き飛ばすかのように太陽が降り注ぐ食堂となりました。前日準備の時に「今日みたいな気温だとかき氷要らないね」と話していた、当日の天気・気温をみて決めるようにしましたが、朝イチでかき氷提供決定となりました。

昨日組み立てたミスト扇風機も大活躍となりました。

本日のメニューは『シンガポール風チキンライス弁当』です。タイ料理だと『カオマンガイ』とも呼ばれる鶏肉をエスニックなソースでいただく料理です。

ピース食堂として初めてのトライでしたが、結果的に大成功美味しいお弁当になりました！！

ご飯も鶏がらスープ、生姜、お酒、塩で味を調整して少しジャスミンライスっぽくしてみました。

最近ボランティアさんが足りないかもと心配していましたが、能登半島支援から参加してくださった大川さんが千葉大学の卒業生を中心にお声がけいただき今回ありがたいことに 5 名の若い男性ボランティアにご参加いただきました。調理やかき氷の提供等で大活躍していただきました。

今回も足立区子ども食堂支援協議会様から大量のお野菜をみよちゃん様、早坂様、みよちゃん様から子どもたちへのお菓子を御寄贈いただきました。



2024 年 7 月 20 日（土）『天心ファミリープロジェクト』を開催しました

場所：東京都『両国国技館』

協力：帝拳ジム、テッペンジム、長尾迪カメラマン

受益者 40 人

（活動総累計 530 回、136,673 人）

ボクシング転向第 4 回目、通算 22 回目の『天心ファミリープロジェクト』でした。

2018 年にスタートした『天心ファミリープロジェクト』、施設やファミリーホームで暮らす子どもたちに夢や希望を与えることを目標にして来ました。

どんなに緊張する舞台にも那須川天心選手は子どもたちを招待してくれています。

今回もボクシング転向 4 回目の注目を集める大会に大勢の子どもたちを招待してくれました。

そして、その子どもたちの目の前で期待通りの KO シーンを描いて見せてくれました。

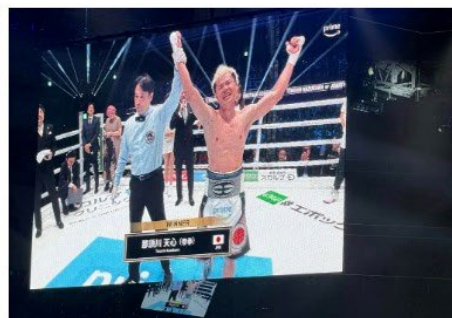
『今回は KO にこだわる』と漏れ聞いていましたが、正に有言実行でした。

両国国技館の会場入り時に子どもたちの為に時間を割いて記念写真を撮り、子どもたちからのプレゼントを受け取る姿はスーパースターを超えた“優しい漢”でしたら。

近い将来、世界チャンピオンになってもその姿は変わらないと思います。

『真の勇者』それが那須川天心選手だと思います。

今回も大勢の子どもたちをご招待いただきありがとうございました。



2024 年 8 月 4 日（日）第 46 回目ピース食堂開催しました

場所：東京都足立区『博多もつ鍋げってん』

協力：ボランティアの皆さん、足立区子ども食堂支援協議会

提供数 90 食

（活動総累計 531 回、136,763 人）

朝から茹だるような暑さでした。どれだけ水分補給しても間に合わないくらいの猛暑です。

朝の朝礼でも『水分補給』とこまめな休憩を取るように指示させていただきました。真夏用に購入した“ミスト扇風機”が大活躍です。かき氷にも行列が出来るほど人気で、1人で4回お替わりする猛者もいるほどでした。

そんな暑さの影響なのか、人気メニューの『冷やし中華』にもかかわらず整理券配布時間の11時になってもいつものような行列にはなりません。夏休みなのでどこかにお出かけされているのかもしれませんが。

本日のメニュー『冷やし中華』は毎年8月の恒例定番メニューで、手作りチャーシューが入った人気メニューです。少し濃いめのタレに氷を入れて少しでも冷たく、美味しく召し上がっていただけるように工夫してみました。

きゅうり、茄子、トマトと言った夏野菜も欠かせません。

今回麻布の高級和食店を経営されておられるT様にご参加いただきました。包丁の使いからして違います。隣できゅうりを切る中学生ボランティアに丁寧に包丁の使い方を教えてる姿は本当にかっこよかったです。

今回のアスリートは博多から朝イチの飛行機で駆けつけてくれたイケメン格闘家石井一成選手です。

小さな子どもから大きな大人まで猛暑の中、懸命にミットを持って皆んなを楽しませてくれました。

その一成選手と山本陽士さんからドリンクのご提供もいただきました。

今回も足立区子ども食堂支援協議会様から大量のお野菜をみよちゃん様、早坂様、みよちゃん様から子どもたちへのお菓子を御寄贈いただきました。



2024 年 8 月 5 日（月）能登半島珠洲市でサーティワンアイスクリーム配布しました。

場所：石川県珠洲市『わくわく広場』

協力：サーティワンアイスクリーム、一般社団法人 mirae

提供数 460 食

（活動総累計 532 回、137, 223 人）

翌日に軽井沢キャンプを控えたこの日、猛暑&雨の中で『サーティワンアイスクリーム』配布のイベントを行いました。

サーティワンアイスクリーム配布イベント無事に終了いたしました！！

今日もたくさんの笑顔ありがとうございました。本当にこっちが癒されたり、元気いただいている気がします。さっちゃん、欠さん、かなこさん、明日からのキャンプに参加してくれるご家族が顔出していただきました。サーティワンアイスクリームの皆さん、一般社団法人 mirae の皆さま、今回も冷たいアイスクリームでの“温かいおもてなし”ありがとうございました。



2024 年 8 月 6 日（火）～8 日（木）『軽井沢キャンプ 2025』を開催しました。

場所：群馬県北軽井沢町『Outside Base』

協力：有限会社ダディーズオピニオン、サーティワンアイスクリーム、一般社団法人 miraie

受益者数 22 人

（活動総累計 533 回、137,245 人）

2014 年から南相馬市の子どもたちを対象としてスタートした『軽井沢キャンプ』ですが、今年は能登半島大震災の被害に遭った珠洲市の小学生を対象として行うことにしました。

6 日の朝 6 時に珠洲市をバスで出発、高速道路を使って群馬県の北軽井沢町にある『アウトサイドベース』を目指しました。午後 2 時前に現地に到着、少し小雨模様でしたがすぐに『川下り（キャニオンダー）』に出発しました。生憎の雨模様だったので、テント張りが出来ず、子どもたちもロッジで過ごすことになりました（夜は予定通り“肝試し”を実施）。

2 日目は午前中に、ドラミング教室、火付け体験を行い、午後には待望の SUP 体験も行いました。夜はアウトサイドベース自慢のバーベキュー料理です（サーティワンアイスクリームの差し入れもありました）。

3 日目の朝、前日雨で出来なかったキャンプファイヤーを行い、マシュマロを使って“スモア”作りに挑戦、スイカ割りをして帰途につきました。帰りのバスでは皆高いびきで可愛い寝顔を見せていました。



2024年8月31日（土）珠洲市で『イナズマ ⚡ スピリット』を開催しました。

場所：石川県珠洲市『ラポルトすず』及び飯田高校

協力：吉祥寺クロスポイントジム、飯田高校

受益者数 102人

（活動総累計 534 回、137,347 人）

RIZIN フェザー級チャンピオンの鈴木千裕選手と共同で立ち上げたプロジェクト『イナズマ ⚡ スピリット』を開催しました。このプロジェクトは、鈴木千裕選手が自分の経験値を子どもたちと分け合い、“あきらめない心” “夢の大切さ”を自分の言葉で伝えていくことを目的としています。

今回は3月の炊き出し、5月の子どもまつりと2度足を運んだ珠洲市の飯田高校の文化祭にサプライズ出演するという企画です。高校生の多くは鈴木千裕選手のサプライズ出演に大喜びです。しかし、最初は近くにいるのになかなか声をかけることが出来ません。やはり、スター選手との距離を感じているのかと思いましたが、鈴木千裕選手自ら声をかけて挨拶や写真撮影していくと、一気に距離が小さくなり皆笑顔で談笑することが出来ました。鈴木千裕選手あっぱれです！！



2024年9月4日（水）『ワインエイド 2025』に参加しました。

場所：東京都港区『東北酒場トレジオンポート』

協力：ワインエイドの皆さん

受益者数 0人

（活動総累計 535 回、137,347 人）

以前は神楽坂にあるアグネスホテルで定期的に行われていた『ワインエイド』は、ワイン輸入を仕事にされている皆さんが集まって、ワインの試飲をしながら集まった売上を支援活動している団体に寄付する活動です。アグネスホテルがなくなってからしばらく活動がありませんでしたが、能登半島大震災をきっかけに再度活動しようという声があがり、場所を港区の『東北酒場トレジオンポート』に移しての再開となりました。今回「能登半島の現状を話して欲しい」とリクエストをいただきました。子どもまつりにもボランティア参加していただいている宮川さんのリクエストに応えないわけにはいきません。

短い時間でしたが、ニュースや報道で知られている能登半島と実際の現場の差異を出来るだけ丁寧に説明させていただきました。



2024 年 9 月 7 日（土）第 47 回目ピース食堂開催しました

場所：東京都足立区『博多もつ鍋げってん』

協力：ボランティアの皆さん、足立区子ども食堂支援協議会

提供数 130 食

（活動総累計 536 回、137,477 人）

暦の上ではもう秋なんですけど、今日も暑い一日でした。先日の「米が買えない」と言う SOS 投稿には本当に多くの方からご支援の連絡をいただきありがとうございました。皆さまから数ヶ月は間に合うくらいのお米をご寄付いただきました。

さて、今日は 1 番人気の『ビーフバーベキュー弁当』でした。鉄板隊長にも出動していただき、屋外で美味しい匂いをさせながらのピース食堂となりました。また今回もサーティワンアイスクリーム様、一般社団法人 miraie 様から大量のアイスクリームをご提供いただき、暑い中並んでいただいた方に提供させていただきました。アスリートには国体で優勝した現役青学女子大生ボクサー篠原光選手とお父さんであり、コーチでもある篠原一三さんに来ていただきました。

小学校では午前中授業があったらしく、子どもたちの参加が少し遅れましたが、どの子もニコニコ楽しそうにボクシングを習ってる姿が印象的でした。また今週行われたパリパラリンピック『パラトライアスロン』に出場、見事 8 位入賞した木村潤平選手が帰国早々に顔を出して入賞報告をしてくれました。仲間が世界の舞台で活躍してくれるのは本当に嬉しいかぎりです。マラソンの谷川真理さんにもサプライズ参加していただき、厨房もイベントスペースも楽しく賑やかなピース食堂でした。

メニュー内容は、柔らかいオーギービーフをステーキにして、フレンチフライ、ミックスベジタブルを添え、酸味の効いた冷やしミネストローネスープと共に提供させていただきました。

今回も足立区子ども食堂支援協議会様から大量のお野菜を、ドール様からバナナを、早坂様から子どもたちへのお菓子を御寄贈いただきました。



2024 年 9 月 8 日（日）『RISE ファミリープロジェクト』を開催しました

場所：神奈川県横浜市『横浜 BUNTAI』

協力：RISE クリエーション、長尾カメラマン

受益者 40 人

（活動総累計 537 回、137,517 人）

出来立てホヤホヤの『横浜 BUNTAI』に来ました。

元横浜文化体育館がその名もブンタイに変えて復活しました。

そして今日は『RISE World Series 2024』で『RISE ファミリープロジェクト』を開催します。

『RISE ファミリープロジェクト』は養護施設やファミリーホームです暮らす子どもたちに、格闘技の試合を観戦してもらい、夢や希望を持ってもらう事を目標としています。

今日のプロジェクトにはチャド・コリンズ選手、白鳥大珠選手、那須川龍心選手が参加してくれました。

撮影会後に選手と撮影したり、サインしてもらうなどの交流もあり、子どもたちは大興奮でした。

いつもご招待いただく RISE クリエーションの皆さま、カメラマンの長尾さん、本当にありがとうございます。



2024 年 9 月 24 日（火）～30 日（月）能登半島豪雨災害支援活動

場所：石川県珠洲市『若山小学校』
協力：AAR ジャパン、地元ボランティアの皆さん
活動回数 6 回、提供数 1,233 食
(活動総累計 543 回、138,750 人)

9 月 21 日に発生した『能登半島豪雨災害』に向けた緊急支援活動に入りました。活動場所は能登半島大震災支援と同じく珠洲市の若山小学校です。
活動開始とともに、震災の活動時からお手伝いしてくださったボランティアの方々、軽井沢キャンプに参加してくれた小学生たちがお手伝いに参加してくれました。当初はスタッフ 3 名でしたが、2 名になり、結局ずっと 2 名体制での活動でしたが、地元の皆さんに助けられて 1 週間の活動を終えることが出来ました。
また活動期間中に『西日本豪雨被害支援活動』でボランティア参加してくださった倉敷市の方が、地元で採れた完熟シャインマスカットを大量に差し入れしていただいたり、活動で広がった輪が役立った面もあり、嬉しい活動で終えることが出来ました。

日付	提供	メニュー 1	提供数	メニュー 2	提供数	配布物	提供数	ボランティア	スタッフ数	受益者数
9/24	昼食	豚汁	130	おにぎり	250			2	3	380
	夕食									
9/25	昼食									
	夕食	チキンカレー	160					1	2	160
9/26	昼食									
	夕食	バターライス	166	トマトスープ				1	2	166
9/27	昼食									
	夕食	麻婆丼	150					1	2	150
9/28	昼食									
	夕食	豚丼	223	シャインマスカット				1	2	223
9/30	昼食									
	夕食	牛焼肉丼	154					1	2	154
	合計		合計							1,233



2024 年 10 月 6 日（土）第 48 回目ピース食堂開催しました

場所：東京都足立区『博多もつ鍋げってん』

協力：ボランティアの皆さん、足立区子ども食堂支援協議会

提供数 111 食

（活動総累計 544 回、138,861 人）

今回の提供メニューはピース食堂としては初めての試みである『ラーメン』です。

ラーメンはかつて恵比寿、現在の本店は池尻大橋で大人気店の「らーめん香月」よりレシピにご協力いただきました。イベント用に開発された、1分で茹でられそのあと伸びにくい麺、そして濃厚なのに口当たりあっさりな魚介スープに秘伝の醤油ダレ「かえし」、「香味油」を加えたしょうゆラーメンをご用意いただき、子ども食堂でも提供できる一品をご提案いただきました。実はこのラーメン、能登半島地震支援の炊き出しで、ラーメン香月様よりすべての食材提供もしていただいたメニューです。

少し肌寒いくらいの小雨もあって、「ラーメン日和」、ご利用の方も集まりました。

提供の待ち時間にはいつも通りボクシング体験コーナーで子供たちは元気に動いてくれました。

なんと、今回のスペシャルゲストはつい先日世界バンタム級タイトルマッチで劇的な死闘を魅せてくれた『比嘉大吾』選手！！ピース食堂への参加は2回目でしたが、雄大なグローブ姿のイメージと違って、とても気さくでお茶目なお人柄で、子供たちとのふれあい活動はもちろん、一緒にスープを見守ったり、ボランティアさんとも記念撮影していただいたり、と場を盛り上げていただきました。

今回のご支援として、朝準備中に足立区在住の女性が通りすがりにお声がけいただき、なんと、寄附金をいただきました。また、支援品として、初回からサポートし続けてくださっているみよちゃんさんより、子供たちへのお菓子もいただきました。ラーメンにすぐに溶けず、風味があがる、と創業 124 年の大森の老舗「守半海苔店」様より高級海苔もご寄贈いただきました。ありがとうございます。



2024 年 10 月 14 日（月祝）『天心ファミリープロジェクト(23 回目)』を開催しました

場所：東京都『有明アリーナ』

協力：帝拳ジム、テッペンジム、長尾迪カメラマン

受益者 50 人

（活動総累計 545 回、138,911 人）

那須川天心選手、ボクシング転向 5 戦目通算 23 回目の『天心ファミリープロジェクト』開催しました。会場は東京都江東区の『有明アリーナ』です。今回は初のタイトルマッチ（WBO アジアパシフィックバンタム級王座決定戦）で緊張されているにもかかわらず、試合前に子どもたちの為に時間を取って記念撮影と軽いふれ合いに応じていただきました。対戦相手はジェルウィン・アシロ選手という同級 2 位の強豪です。子どもたちからのプレゼントを笑顔で受け取ったり、握手を交わしたりと終始和やかな雰囲気です。子どもたちからのプレゼントを笑顔で受け取ったり、握手を交わしたりと終始和やかな雰囲気です。子どもたちからのプレゼントを笑顔で受け取ったり、握手を交わしたりと終始和やかな雰囲気です。子どもたちからのプレゼントを笑顔で受け取ったり、握手を交わしたりと終始和やかな雰囲気です。

今回もお手伝いいただいた那須川弘幸さん、岡本トレーナー、長尾さんに心から感謝申し上げます。

本日は 7 施設から 50 名に参加していただきました。



2024 年 10 月 26 日（土）27 日（日）『アウトサイドフェスティバル』に参加しました。

場所：東京都立川市『昭和記念公園ゆめひろば』

協力：有限会社ダディーズオピニオン、アウトサイドベース

受益者 0 人

（活動総累計 546 回、138,911 人）

10 月 26 日から 27 日にかけて毎年恒例となっている『アウトサイドフェスティバル』に参加してきました。

『アウトサイドフェスティバル』は田中ケンさん率いる有限会社ダディーズオピニオンが主催するイベントで春には新宿中央公園で、秋には昭和記念公園で開催されています。

ピースプロジェクトでは活動内容を紹介するとともに、企業様から無償提供されたサンプル品等をチャリティ販売させていただきました。

参加者の方から温かい励ましのお言葉をいただいたり、たくさんのチャリティ商品をお買い求めいただくことがとてもありがたく、出展させていただいている有限会社ダディーズオピニオン様にも心から感謝申し上げます。



2024 年 10 月 27 日（日）『イナズマ ⚡ スピリット』（第 2 回）を開催しました。

場所：東京都吉祥寺市『クロスポイント吉祥寺』

協力：クロスポイント吉祥寺、インスピリット、山口比佐夫カメラマン

受益者 20 人

（活動総累計 547 回、138,931 人）

今日は鈴木千裕選手とピースプロジェクトが共同で立ち上げた『イナズマ ⚡ スピリット』（第 2 回目）@[クロスポイント吉祥寺](#)でした。

このプロジェクトは鈴木千裕選手が児童養護施設やファミリーホームで暮らす子どもたちに自身が信じる稲妻メンタルを含め、生き方をや悩み相談にのる形で子どもたちを励まし勇気付けると言うプログラムです。今回は千裕選手が日頃トレーニングするクロスポイント吉祥寺でイベント開催させていただきました。

鈴木千裕選手自らが飲み物、お菓子、ドーナツを用意してくれました。子どもたちとの話しも恋バナだったり、普段恥ずかしくて言えないようなことも千裕選手自ら語りかけてくれるなど、子どもたちにとってはとても貴重で楽しい時間になったと思います。

写真撮影は山口比佐夫さんをお願いしました。インスピリット杉田さんはじめ、クロスポイント関係者の皆さんに感謝申し上げます。



2024 年 11 月 2 日（土）能登半島珠洲市で支援活動を行いました。

場所：石川県珠洲市

協力：若山小学校、地元ボランティアの皆さん

受益者 90 人

（活動総累計 548 回、139,021 人）

能登半島大震災発生時から活動拠点としていた若山小学校から学習発表会にご招待いただき、参観しながら活動してきました。

学習発表会は1年生1名、2年生1名の2名での発表から、これが最後の発表になる6年生まで、2学年ごとに、劇、歌、ダンス等を交えて一生懸命披露する様子に心から感動しました。

それぞれの発表に、「私たちのふるさとの地区の素晴らしさを伝える」テーマが根底にあり、最後の6年生によるあいさつで『いろいろなことがあったけど、たくさんの人に支えられてながら、未来に向かって進んでいきます』という言葉には胸を打たれました。

「色々なこと」と表現した「地震」そして「洪水」。。未だ「普通の生活」だって送れていない子供たちが多い中、未曾有の出来事を乗り越えるのには子供たちにとって並大抵の思いではない事でしょう。

それでも発表会を通して地域の大人が参観する中で地域みんなの想いを代弁して表現する場に居られたこと、支援する側でありながら、元気づけられました。

子供たちの下校に合わせてのおやつ炊き出しは「白玉ぜんざい」です。

ピース珠洲支部幹部のいつものメンバーと一緒に準備から手伝っていただきながらの活動です。

そこに『あっ、また来てくれた！』『手伝ってもいいですか？』と声をかけてくれる子供たち。支援しに行っているのか、支援されているのかわからないな、と思いながら提供を行いました。

生憎のひどい雨のお天気でしたが、裏の仮設住宅の方々とも再会し、無事に提供を終えました。



2024 年 11 月 10 日（日）第 49 回目ピース食堂開催しました

場所：東京都足立区『博多もつ鍋げってん』

協力：ボランティアの皆さん、足立区子ども食堂支援協議会

提供数 110 食

（活動総累計 549 回、139, 131 人）

当初、最小人数での活動になるかも？という状況が一転、初参加の高校生 3 名、大学生 1 名にレギュラーのボランティアの皆様をお迎えすることができました。

また、外イベントには格闘家の再募集に即応してくださった、レジェンド格闘家前田憲作さん、そして 19 歳にしてムエタイチャンピオンの彪嘉選手をお迎えできることとなり、いつも以上の豪華な顔ぶれでのピース食堂となりました。

初めてボランティア活動をしたという高校生も調理に入ってもらって、オムライスの仕上げの要“ケチャップ職人”も担当してもらいフル参加、昼食時には「たのしかった！」との感想が上がりました。初参加の大学生もご自身がボランティアサークルに属しているとのことで、「来月も来ます！」とこれまたなんとも心強い感想でした。ケチャップ職人によってかわいらしく仕上がったオムライス、冬野菜の甘みが出た温かいスープを店内飲食を楽しむ親子連れの方々と賑わい、子供たちが「おいしい〜」「来月も食べたい」と口々に言ってくれたときは今日のみならず、今後のピース食堂への何よりの励みになりました。

活動当初からご支援いただいている足立子ども食堂支援協議会様より前日にとっても立派な冬野菜をご提供いただき、この美味しいメニューを仕上げることができました。また、同協議会を通じて(株)ドール様よりバナナをご寄贈いただきました。また、みよちゃん様より子供たちへのお菓子を、ボランティアでご参加の早坂さんからは子供たち、そしてボランティアの皆さんへもお菓子をそれぞれご寄贈いただきました。

本当にひととのつながりやサポートしてくださる方のおかげで活動が成り立っていることを毎回実感します。



2024 年 12 月 1 日（日）『上田正樹チャリティライブ@能登半島』を開催しました。

場所：石川県珠洲市『ラポルトすず』

協力：上田正樹さん、バンドメンバーの皆さん、AARジャパン、石川県珠洲市、大阪ロータリークラブ、サーティワンアイスクリーム、一般社団法人 miraie、能登キッチンカー有志の会、珠洲市民合唱団、市民ボランティアの皆様、スカイハイソウル

受益者数 220 人

（活動総累計 550 回、139,351 人）

やっぱり音楽のチカラは最高!!

『上田正樹チャリティライブ@能登半島』2 日間の日程無事に終了しました。

11 月 30 日土曜日@七尾市、12 月 1 日日曜日@珠洲市の 2 日間に渡って行ったチャリティライブでしたが、2 日とも成功裡に終える事が出来ました。

上田さんには、2016 年熊本地震の際の益城町、2018 年北海道地震の際の厚真町でチャリティライブを行っていただきましたが、いずれも集会所や小学校の玄関ホールといった小さなスペース、人数も限定でやってきました（上田さんご自身も 2011 年から東日本大震災でチャリティライブを開催されています）。

ところが今回 2 日目の珠洲市では市のご協力を得て客席が 500 名強の大ホール『ラポルトすず』で開催出来ることになったことや、地元の合唱団とのコラボ企画、さらに大阪のロータリークラブのご支援もあり、キッチンカー 6 台が参加する、大炊き出しイベントありと、私たちにとって前代未聞の取り組みとなりました。朝 9 時から搬入、仕込み、リハーサル、合唱団との合同リハーサル、その間に炊き出しイベントの段取り、実施と大忙し。

珠洲市は 9 月に豪雨災害にも見舞われた地域ということもあり、ライブイベントをやって「本当に人が集まるのか？」と言う不安もありました。

珠洲市の公式ホームページや公式 LINE で告知していただいた成果もあり、約半分が埋まる 220 人に集まっていただきました。

「R&B って聞いた事ない」と言う人も多い中、いざ始まってみると老若男女ほぼ全員が一体となって“groove”の虜になっていました。上田正樹さん代表曲の「悲しい色やね」はソウル&ブルースバージョンで演奏され、観客(被災された方々)の心に沁み入る様子でした。

市民合唱団とのコラボ『今ある気持ち』の素敵なハーモニーでは涙する人、歌に合わせて両手を振る人など演者と観客席がさらに一体化したフィナーレとなりました。

結果的にこのタイミングでのライブイベントの実施は大成功だったと感じています。

ライブ終了後のお客様、また終了後の打ち上げでもボランティアの皆さんから「地元で開催するライブに来て楽しかった!!」「スタッフ側に回れて貴重な体験が出来た」「やっぱり音楽は最高♪」と、嬉しい声をたくさんいただきました。

ライブ終了後、上田さんは自らサインや写真撮影に応じて、出来る限り地元の方々と触れ合ってくださいました。そんな上田正樹さんご本人からも「皆んなの熱い“想い”が伝わってきた!!是非もう一度ここに来てライブやろう♪」と語っていただくほどでした。

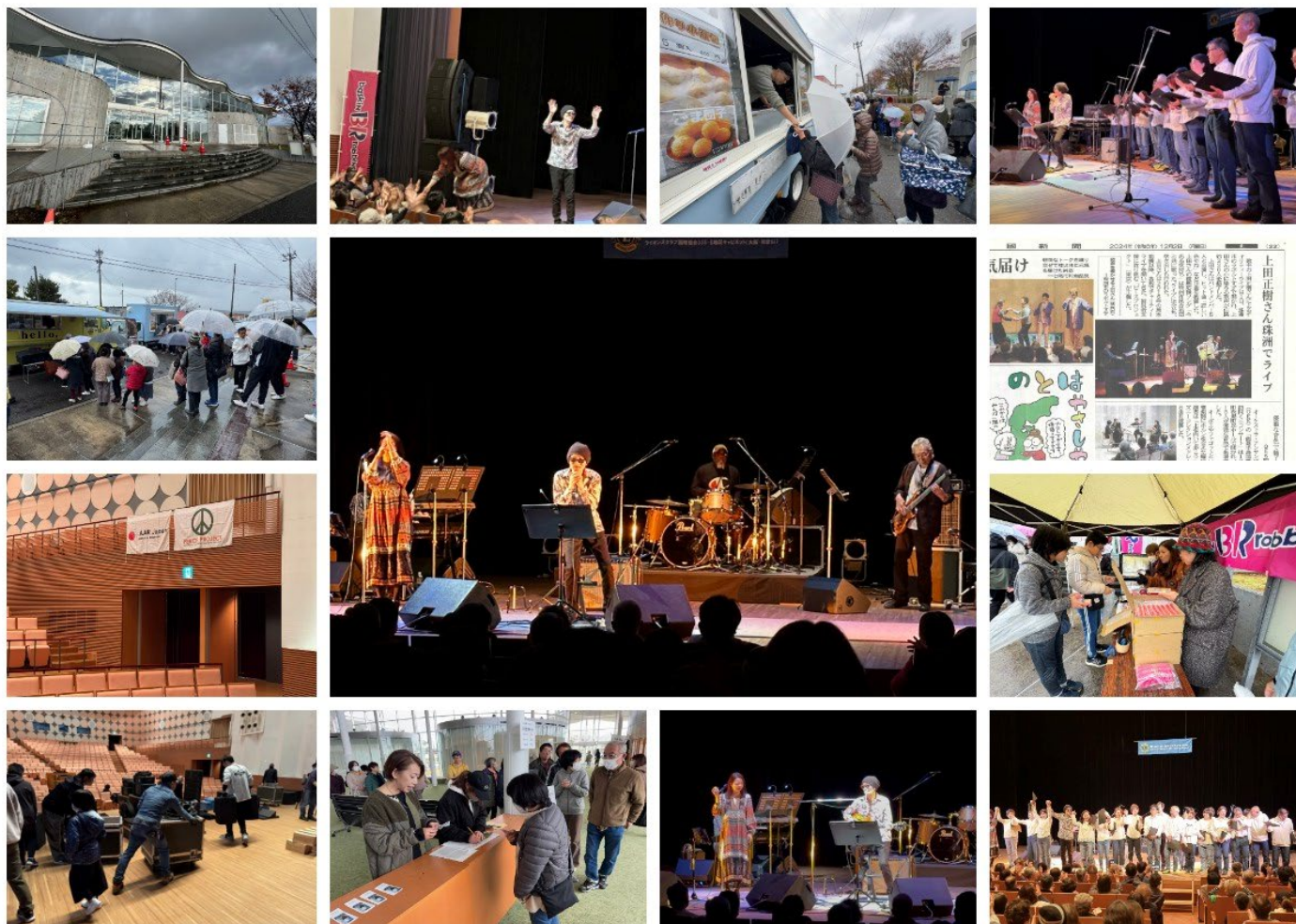
更に、上田さんからこのチャリティライブ参加者にアンコール曲で歌われた「今ある気持ち」の CD をプレ

ゼントされました。少し早いクリスマスプレゼントになったと思います。

朝の搬入から終了後の搬出まで、ピース2名では到底終えることは出来なかった規模のイベントです。「いつもながら地元のボランティアの仲間に助けられました」。

この『仲間』は私たちが珠洲市で活動をしてきた中で得ることが出来たとても大事な宝物です。そして復興に向けた活動を行うための一番の原動力でもあります。彼らの地元の復興のために、と企画して結果としては『仲間たち』に助けられてばかりではありますが。。。

今回のライブイベントにご支援、ご協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。



2024 年 12 月 8 日（日）第 50 回目ピース食堂開催しました

場所：東京都足立区『博多もつ鍋げってん』

協力：ボランティアの皆さん、足立区子ども食堂支援協議会

提供数 131 食

（活動総累計 551 回、139,482 人）

2021 年 3 月にスタートした『ピース食堂』ですが、今日 50 回を迎える事が出来ました。ここまで長いようで短く、短いようで長い道のりでした。本当に色々な経験を積ませていただいております。

50 回を記念して、第一回からボランティアでご参加いただいている田中様より、思い出の第一回の写真とチラシを写真立てに入れた素敵なギフトをいただきました。ここからピース食堂もまた皆さんと一緒に次の 50 回を重ねていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いしす。

本日のメニューは 12 月と言う事で恒例の『チキンレッグ』&『フルーツポンチ』。チキンレッグは前日に仕込み下味をつけてたものを大きな両手鍋2つでしっかり火を通して皮目を焼いて、照りを焼き風のソースをかけて出来上がり、副菜にブロッコリー、マッシュポテト、プチトマトを添えました。

店内飲食は過去最高の利用者数でした。召し上がった方々から多数の「美味し〜い」もいただきました。今日参加して下さったアスリートは先月に続き元キックボクシングチャンピオンの前田憲作さんです。

ちびっ子たちは行列を作って楽しそうにキックボクシング体験をしていました。

ボランティアメンバーの早坂さんがサンタ扮装して行列に並ぶ人たちにお菓子や文房具を配ったり、整理券配布後はクジによるプレゼント抽選会も行いました。

今回は足立区子ども食堂支援協議会様から大量のお野菜、そしてクリスマスプレゼントとして文具を、ドール様からはバナナを、早坂様、みよちゃん様から子どもたちへのお菓子を御寄贈いただきました。



2024 年 12 月 21 日（土）『RISE ファミリープロジェクト』を開催しました

場所：神奈川県横浜市『横浜 BUNTAI』

協力：RISE クリエーション、山口久佐夫カメラマン

受益者 25 人

（活動総累計 552 回、139,507 人）

幕張メッセで開催された『RISE World Series』で『RISE ファミリープロジェクト』を開催しました。

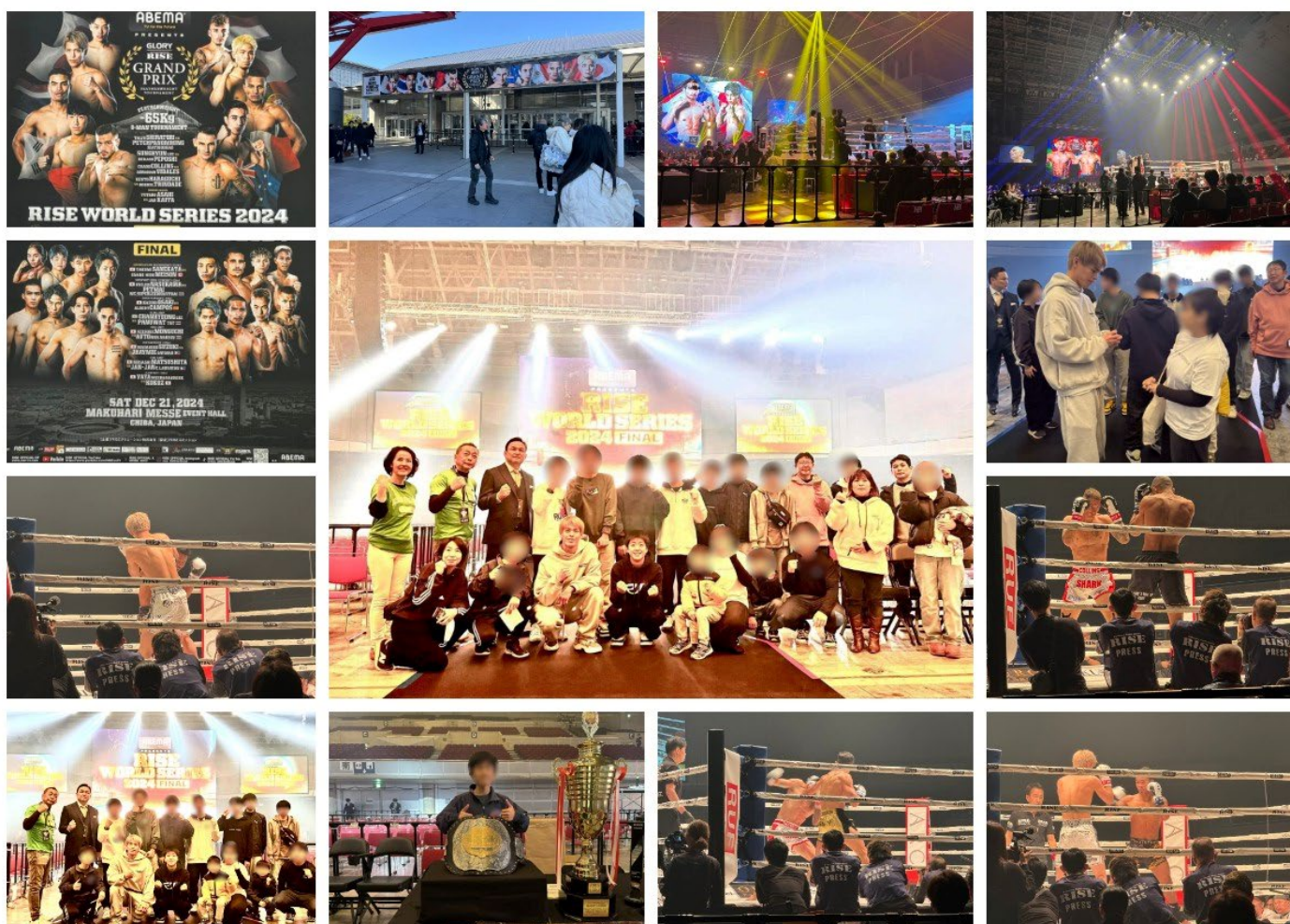
今回のプロジェクトに茨城県、千葉県、東京都、神奈川県の養護施設、ファミリーホームの子どもたちが参加してくれました。

子どもたちは何度も参加しているので、一緒に記念撮影してくれた白鳥大珠選手、那須川龍心選手の事を良く知っており、言葉を交わしたり、握手したり、ツーショット写真撮ったりとご満悦の様子でした。

しかも今回のお席はアリーナ席です。ご招待くださった RISE クリエーション様、いつも撮影していただいている長尾さん、山口さんに心から御礼申し上げます。

また試合前の大切な時間にもかかわらず、撮影に参加してくれた白鳥大珠選手、那須川龍心選手にも心から御礼申し上げます。

今回の写真は山口カメラマンに撮影していただきました。



2024 年 12 月 22 日（日）『クリスマスイベント』を開催しました

場所：東京都足立区『クリスマス・ヴィレッジ』

協力：工藤理恵様、佐山聖斗様

受益者 280 人

（活動総累計 553 回、139,787 人）

毎年クリスマス直近の土日に京都、首都圏、茨城の児童養護施設、ファミリーホームでクリスマスイベントを開催しています。今年は土曜日が RISE ファミリープロジェクトと重なってしまったため、京都でのイベントを取り止めて、日曜日に足立区の『クリスマス・ヴィレッジ』のイベントのみ行う予定でした（この他にサンタブーツを京都、首都圏、茨城の 6 施設に送付しています）。

今回訪問した『クリスマス・ヴィレッジ』は足立区にある、定員 80 名弱の大きな施設で未就学児から高校生までが暮らしています。

今年は未就学児向けにクリスマスジンジャーブレッドハウスを組み立てる企画を準備していました。

ところが、今年は開催直前に施設から、「子供たち、そして職員の間でもインフルエンザが流行ってきているので、ふれあいイベントはできれば控えたい」との連絡が入りました。

安全策第一、としてその旨ピースとしても理解し、残念ではありますが子どもたちには健康でいて欲しいので気持ちよくイベントの中止を受け止め、今回はプレゼントの贈呈式の写真撮影のみにとどめる形での活動となりました。

快くご協力を申し出てくださり、また直前のキャンセルも受け止めてくださったバスケットボール 3 リーグそれぞれの選手皆様と調整にご尽力いただいた佐山様にはこの場を借りて御礼申し上げます。

また毎年各施設へのサンタブーツ茶菓をご寄贈いただく工藤様、1 つ 1 つにメッセージを付けてくださったボランティア 20 名の皆様にも心より御礼申し上げます。



2024 年 12 月 13 日（金）『フードパントリー(ピースパントリー)』を開始しました

場所：東京都足立区周辺

協力：ベル訪問介護ステーション、やんちゃーず五反野、ケアろぐ、足立みんなの家、地域包括支援センター伊興、スーパーベルクス西新井西店、花鮮

受益者 58 人（24 世帯）

（活動総累計 554 回、139,845 人）

ピースパントリーの支援先はひとり親家庭、もしくは障害をもつお子さんのいるご家庭を原則としています。

足立区で毎月実施している子ども食堂「ピース食堂」は子ども食堂の色々な意味での垣根を下げたい、という思いから「イベント併設」、次世代の若い人たちにボランティア活動を「体験してもらう」という支援する側の登竜門的な場所としての意義も持ちつつあります。

パントリーを実施するにあたって「取り漏らさない支援」とするために、「障害を持つお子さんのいる家庭」も支援先に加えました。ピースパントリーの支援を必要としているご家庭にリーチするために、ピース食堂の活動でつながった訪問介護施設、障害を持つ子供たちが外遊びできる場を作っている NPO 団体、足立区地域包括支援センター等、多数の方々にご協力いただきました。

恥ずかしながら私たちの勉強不足・知識不足もあり、どういった物が『本当に必要な支援品』なのかについても 1 回目の利用者の方から教えていただいているような状況ではありますが、第 1 回を終え、利用者の方から「助かります」という声もいただき、大変励みになっています。今週は第 2 回の実施を予定しており、第 1 回では支援品の購入段階で時間がかかってしまい、その日の夕食も支援品に入っているのですが、最後のご家庭にお届けできたのが 21 時半近くになってしまった反省をいかして、今回は 2 日間に分けての配送計画としました。

「フードパントリーって何？」と思われる方もいると思いますが、「ピースパントリー」を通してその活動内容についても今後発信していきたいと考えておりますので、ぜひ、皆様からのサポートをお願いいたします。



2024 年 12 月 28 日（土）『第 2 回フードパントリー（ピースパントリー）』を実施しました

場所：東京都足立区周辺

事業協賛：NPO 法人むすびえ（子ども家庭庁「令和 6 年度ひとり親家庭支援事業」）

協力：ベル訪問介護ステーション、やんちゃーず五反野、ケアろぐ、足立みんなの家、地域包括支援センター伊興、・スーパーベルクス西新井西店、花鮮

受益者 80 人（28 世帯）

（活動総累計 555 回、139,925 人）

12/13 に続いて第 2 回ピースパントリー実施しました。1 回目の配送の時間の大幅な遅延の反省を活かして、第 2 回は施設預け利用の方、個人宅配の方、と 2 日間に分けての活動にしました。

スーパーベルクス西新井西店様のご協力を得て仕分け作業を早く進めることができました。

また、第 2 回は年の瀬ということもあり年が越せるような保存のきく食材を中心に選びました。

仕分け作業ではピース食堂でも大活躍していただいている曽根ファミリーをはじめ、利用者の方からのお申し出もあつたりと、たくさんのボランティアの方々のご協力を得て 28 世帯、80 名分の食料品・日用品・お弁当を 2 時間半で仕分けしていただきました。

生鮮野菜は（有）花鮮様から卸業直接の仕入れ野菜、本当に新鮮で冷蔵庫に入れてもかなり長持ちするので、利用者様からもすでに大変好評です（トラックも出していただいています）。

1 日目の配達には曽根ファミリーが「軽トラック使ってください！」と運転ボランティアとしてお嬢さんも一緒に手伝いにきてくださり、これが住宅街の路地も通行しやすく、なにより荷台にたくさんの荷物が搭載できるので、2 回のピストン配送で配達を終えることができました。

2 日目の配達は個人宅への配送ですがピースメンバーの協力もあり、Google マップの便利さを享受しながら“時短”に努め配送を終えることが出来ました。



2024 年 12 月 31 日（火）『イナズマ ⚡ スピリット』(第3回)を開催しました。

場所：埼玉県さいたま市『さいたまスーパーアリーナ』

協力：クロスポイント吉祥寺、インスピリット

受益者 30 人

(活動総累計 556 回、139,875 人)

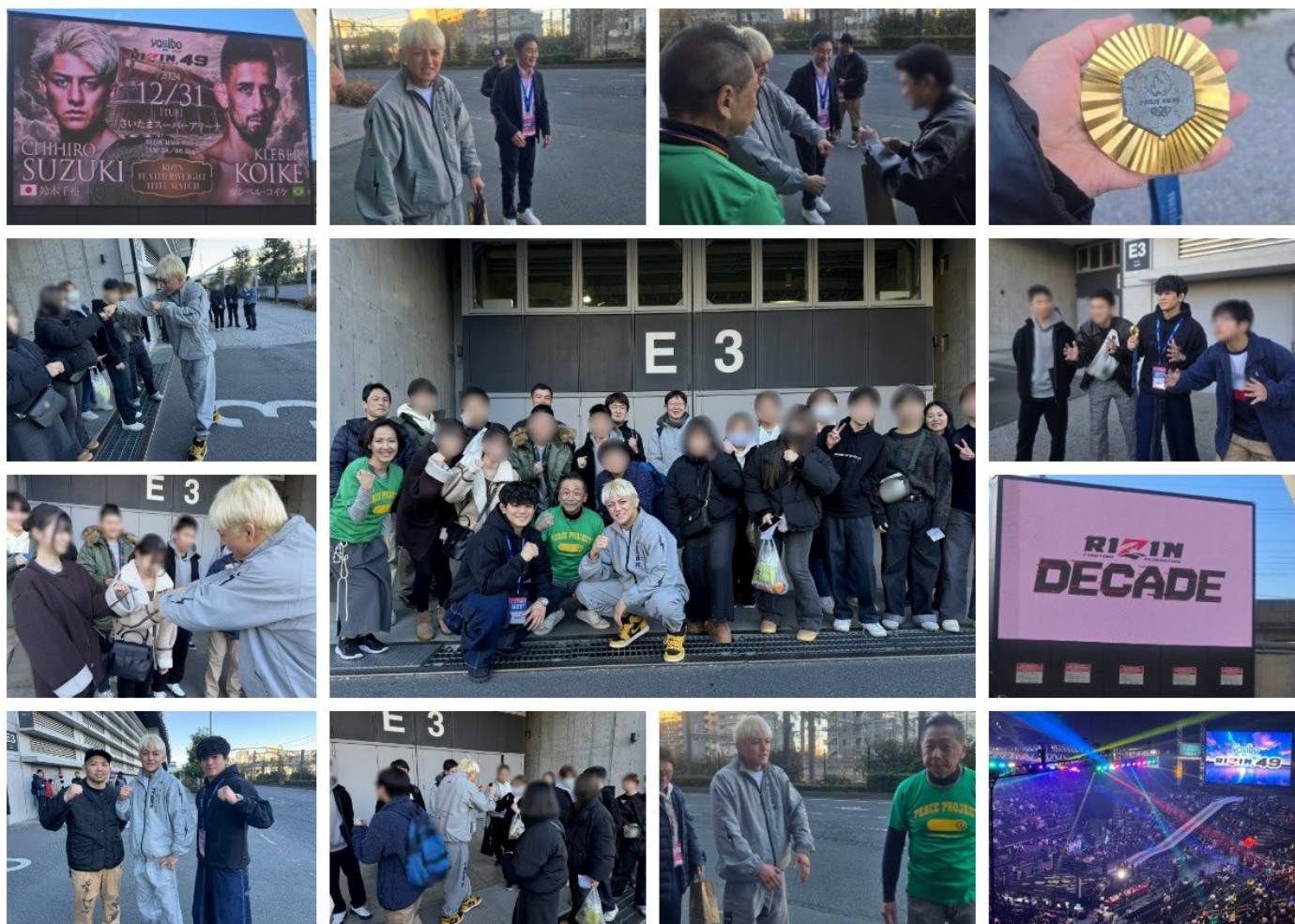
さいたまスーパーアリーナで『イナズマ ⚡ スピリット』開催しました。

大晦日恒例の『RIZIN DECADE』で鈴木千裕選手と児童養護施設、ファミリーホームの子どもたちをつなぐ『イナズマ ⚡ スピリット』を開催しています。千裕選手のファンという男子からは千裕選手にプレゼントが渡されました。最後は千裕選手が全員と“グータッチ”してくれて、全員心から応援体制で観戦しました。

試合前の忙しい時間を割いて子どもたちとふれあってくれた鈴木千裕選手、そして特別ゲストとして今年のパリオリンピックレスリング男子フリースタイル 65 キロ級金メダリスト清岡幸大郎選手、クロスポイント吉祥寺に所属する渡慶次幸平選手に心からお礼申し上げます。

また裏方として今回の段取りをさせていただいたインスピリットの杉田さんにも改めて御礼申し上げます。

今回は茨城県、千葉県、神奈川県施設から計 30 名に参加していただきました。



2025 年 1 月 18 日（土）第 51 回目ピース食堂開催しました

場所：東京都足立区『博多もつ鍋げってん』

協力：ボランティアの皆さん、足立区子ども食堂支援協議会

提供数 124 食

（活動総累計 557 回、139,999 人）

今回のメニューは子ども食堂人気メニュー、しろくまのキーマカレー。

大人気キャラクター「すみっコぐらし」のしろくまの型を使ったキャラ弁仕様です。

ごはん型にギュギュッと詰めないとしろくまの耳や手がうまくでなかったりするので作る側は盛付けが勝負。とにかく時間がかかります！！難関は、しろくまにつける目と鼻。海苔でやるのがいいと過去に作った経験からわかっているの、これは前もってピーススタッフがせっせと穴あけパンチの道具で 1 体につき 3 つ、大体 140 食前後毎回出るので実に 400 個以上の海苔を抜いて作業しておきます。

今回のピース食堂のもう一つの目玉は外イベント。久しぶりにマジックショーを開催しました。

披露してくださったのは、プロボクサーで「ラーメン二郎愛好家 You Tuber」のジロリアン陸選手。

ジロリアン陸選手、以前からピースプロジェクトのクリスマスイベントで子供たちにマジックを披露してくれるなどの関わりが深く、昨年 12 月にはちょうど試合もあり、見事に 2R で TKO 勝ち、プロボクサーの経歴も素晴らしいのです。最初の挨拶の段階から口からトランプが出てくる。。。子供たちも間近でみるマジックに目も心も奪われて、「えええっ」と驚く様子が見られ、楽しめたようです。ボランティアさんの昼食タイムの後にもいくつか披露してくださり、ボランティアもみんな「なんで??」と驚き喜んでいました。

ジロリアン陸選手、ありがとうございました！

そして今回のピース食堂、昨年までとの大きな違いが見られました。店内で飲べていかれる方が増えました！

本来は子ども食堂の名の通り子供たちの居場所として使ってもらいたいのですが、コロナ禍でスタートしたピース食堂は「お弁当」スタイルで始めてしまったため、そのイメージが強いのか中で食べられない、と思っている利用者の方が多かったように思います。店内飲食をしてくれるとスタッフも食事の感想を聞いたり、来月のメニューの予告などお話することができていっしょに賑やかで楽しい店内になりました。



2025 年 1 月 24 日（金）、25 日（土）『第 3 回フードパントリー（ピースパントリー）』を実施しました

場所：東京都足立区周辺

事業協賛：NPO 法人むすびえ（子ども家庭庁「令和 6 年度ひとり親家庭支援事業」）

協力：ベル訪問介護ステーション、やんちゃーず五反野、ケアろぐ、足立みんなの家、地域包括支援センター伊興、・スーパーベルクス西新井西店、花鮮

受益者 81 人

（活動総累計 558 回、140,080 人）

ピースパントリーでも配送時に各施設・ご家庭を回らせていただく際、きちんとピースの“ふれあい活動”を実施しながら行っています。

ピースパントリーは、「ピース食堂」からの派生事業です。元々ピースプロジェクトが行う緊急支援を含めた支援活動すべてにおける活動には必ず支援者と利用者の間に「ふれあい」があってきちんと届ける「見える活動」であることをモットーし、ただ炊き出しをするだけ、食事を提供するだけ、ではピースプロジェクトの活動と呼べない、という確固とした想いがあります。

今年になってピース食堂でのご縁で、障害者を家族に持たれている生活困窮なご家庭をご紹介いただき、『フードパントリー』という活動が出来ることに気づきを得ました。

ピースパントリーはそんな困窮家庭への一助となるべくスタートしました。

今回も 29 世帯 81 人分の食材を用意して 2 日間にわけて“配達”させていただきました。お届けの際に「ありがとう。助かるわー」という声が私たちの“エネルギー”になっています。そして逆に私たちが元気をもらうことも多くあります。



2025 年 2 月 8 日（土）第 52 回目ピース食堂開催しました

場所：東京都足立区『博多もつ鍋げってん』

協力：ボランティアの皆さん、足立区子ども食堂支援協議会

提供数 146 食

（活動総累計 559 回、140,226 人）

本日のピース食堂、提供数は過去最高となりました。スタート時から「誰でも来られる子ども食堂」として「こういう場所があるんだ」ということをできるだけ子供たちの口コミで伝えてもらって広げていきたいという思いがまもなく 4 年目に突入するところにきてようやく結実してきているな、と実感しています。なんといっても今回のメニューはピース食堂の目玉、「オーギービーフバーベキュー」！！

東日本大震災から炊き出し支援の時に必ず「お肉メニュー」で応援に駆けつけてくれる、アウトドアキャンプ界でも超有名な YouTuber 田中ケンさん率いるチーム「アウトサイドベース」がカッコいいバーベキューグリルセットを持って、チームトップ 5 メンバーで調理に駆けつけてくださいました。

持参してくださったオーギービーフは実に 20 キロ以上！！ケンさんはじめお人柄も懐もビッグな方々、調理の腕も一流、焼きあがるステーキは完璧なミディアムレア。焼き上がったお肉をみて、ピース食堂スタッフも気分が上がりながら一生懸命美味しく見えるようにカットしました。ステーキ以外にジョンソンビル様よりご寄贈のフランクフルトソーセージも外グリルでジュージュー焼いて、いい香りが食欲をさらにそそります。

前日からの寒気でとても冷え込む早朝からたくさんの方が列を作って整理券を待つ中で、せめてもの暖になればと株式会社東洋食品さまよりご寄贈の「おぜんざい」を作って楽しんでいただきました。

外イベントも豪華ゲストです。現役女子大生ボクサー(しかも青学～！) 昨年 11 月には WB ワールドカップ女子 50kg 級で金メダルを獲得した、篠原光選手がお父さんコーチと共にご参加です！今回は特に子供たちから「やってみたい！」と希望も多く、寒空の下明るくてかわいくてカッコいいヒカル選手と楽しくボクシング体験をする子供たちの姿と笑顔を見ることができました。今回も足立区子ども食堂支援協議会様よりお野菜、ドール社様よりバナナ、みよちゃんさん、レギュラーメンバーまじんくんよりお菓子をご寄贈いただいております。



2025年2月21日（金）、22日（土）『第4回フードパントリー（ピースパントリー）』を実施しました

場所：東京都足立区周辺

事業協賛：NPO 法人むすびえ（子ども家庭庁「令和6年度ひとり親家庭支援事業」）

協力：ベル訪問介護ステーション、やんちゃーず五反野、ケアろぐ、足立みんなの家、地域包括支援センター伊興、・スーパーベルクス西新井西店、花鮮

受益者 82人

（活動総累計 560 回、140,308 人）

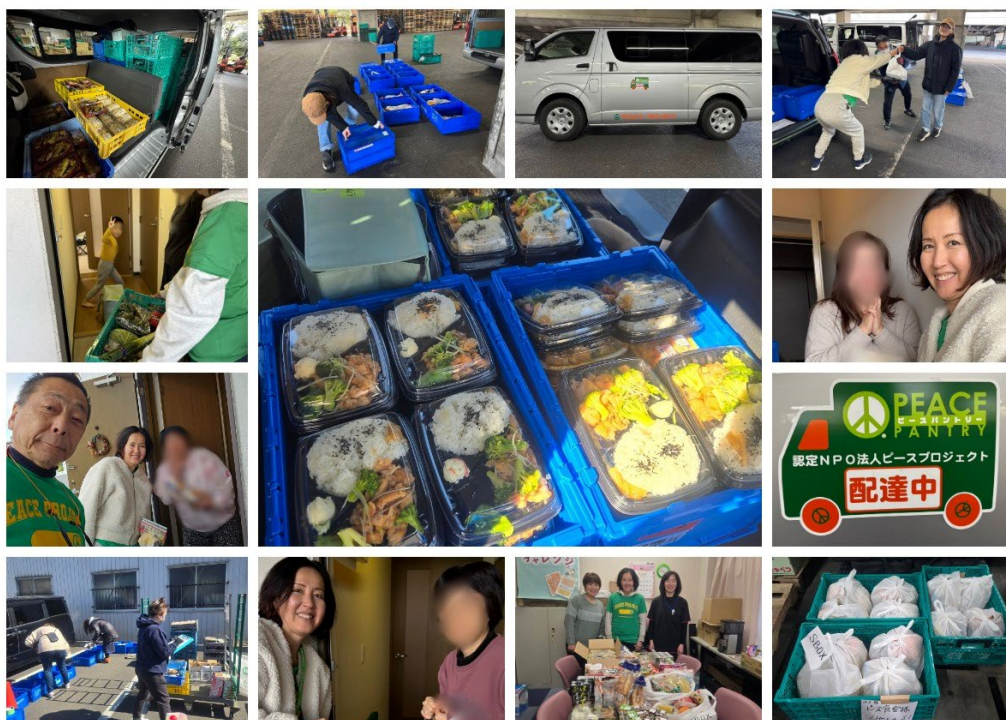
フードパントリーのパントリーは、食品庫、各家庭の食料庫、食料棚、の意味を持つ言葉で、子ども食堂はその名の通り、子供を対象とした食支援で「調理済みの食事を提供する場所・居場所」ですが、「調理する前の食材・食品を提供する」ことを一般的にフードパントリーと支援活動では呼んでいます。

子ども食堂を実施する団体では食材の提供・ご支援を受けることも多く、食堂の延長上で寄贈されたお米や保存食品・インスタント食品を利用者にお渡しして、一部パントリーを兼ねているところも多いです。

ピースパントリーを実施してから見えてきた課題も多く、“どれだけ利用者の方の実情に寄り添った形ですすめていくことができるか”が活動を継続していくカギになると感じています。

またパントリーでは子ども食堂と同じく「ヒト」部分も重要な要素です。食材を仕分けること、配送すること、いずれにも人を必要とします。

今回は1月にお渡しした学用品の文具を使って御礼のメッセージを書いたお子さんのお写真も入れました。これも話を伺うまで「学校で学習ができない障害がある子は絵をかいたりするけれども、握力がなくて普通の色鉛筆だと細すぎて持てない子、逆に強く握るしかできない子だとシャーペンだと芯が折れちゃったりする子がいて、一般に売っている文具だとお絵描きひとつとっても困難なんですよ」とわからなかったことを丁寧に教えてくれたママがいます。私の不勉強と言えはそれまでですが、「寄り添わないとわからないこと」が多いのも支援活動です。



2025 年 2 月 16 日（日）子どもまつり開催場所の視察を行いました

場所：石川県珠洲市、野々江総合公園、木浦キャンプ場

協力：石川県珠洲市

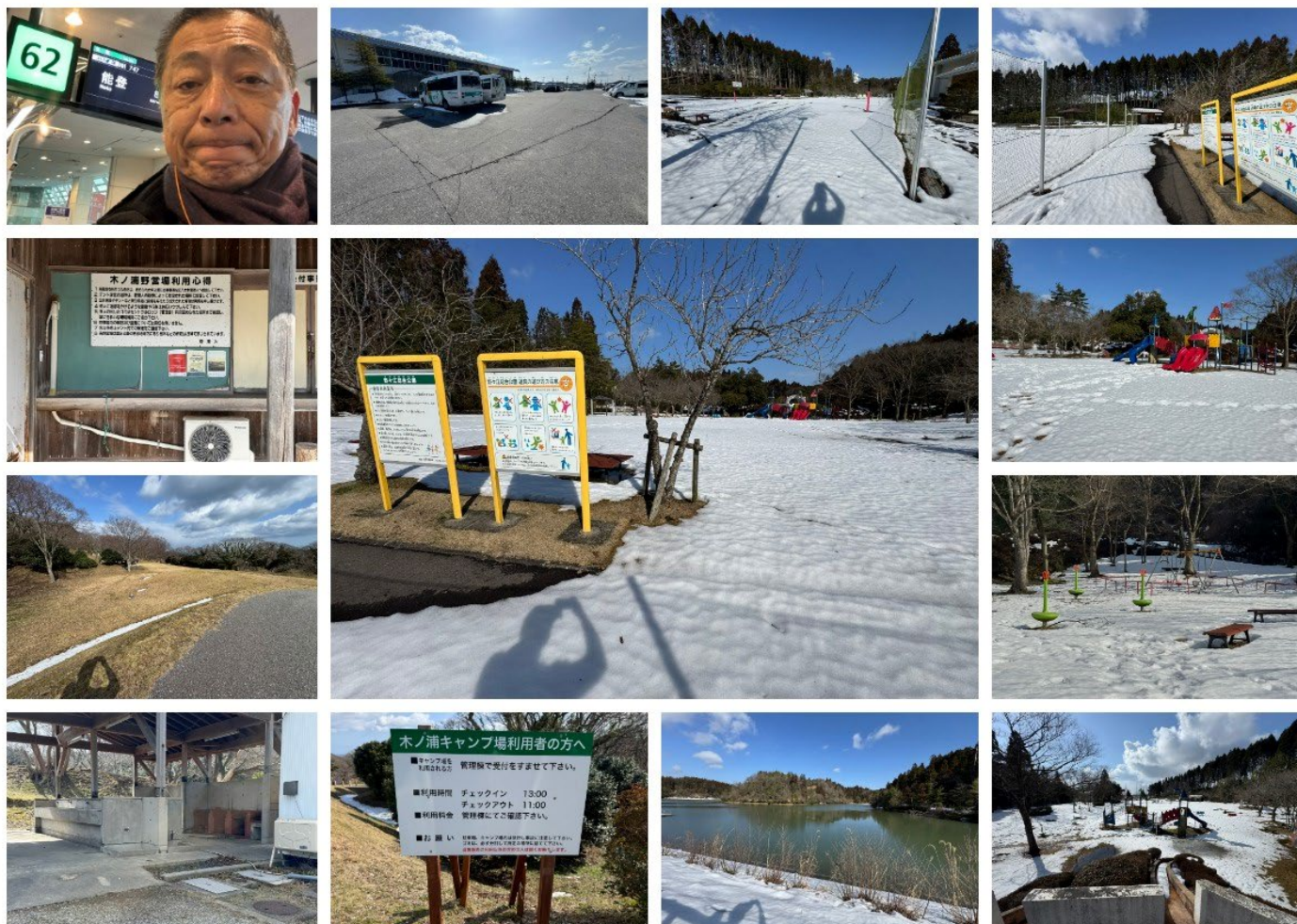
受益者数 0 人

（活動総累計 561 回、140,308 人）

子どもの日に行く『子どもまつり 2025 in 珠洲』の会場を決めるための視察を行いました。

昨年は炊き出し活動の拠点となった若山小学校の校庭を使わせていただきましたが、今年は駐車場だったところが仮設住宅となってしまったために断念せざるを得ず、市役所と相談して『野々江総合公園』と『木浦キャンプ場』の使用許諾を得ました。

実際に『子どもまつり』をやるための会場としてどちらが相応しいのかを判断するために現地を訪れました。生憎雪が積もっており詳しい状況はわかりませんでしたが、総合的に判断して『野々江総合公園』での開催を決定いたしました。



2025 年 2 月 24 日（月祝）『天心ファミリープロジェクト(24 回目)』を開催しました

場所：東京都『有明アリーナ』

協力：帝拳ジム、テッペンジム、長尾迪カメラマン

受益者 50 人

（活動総累計 562 回、140,358 人）

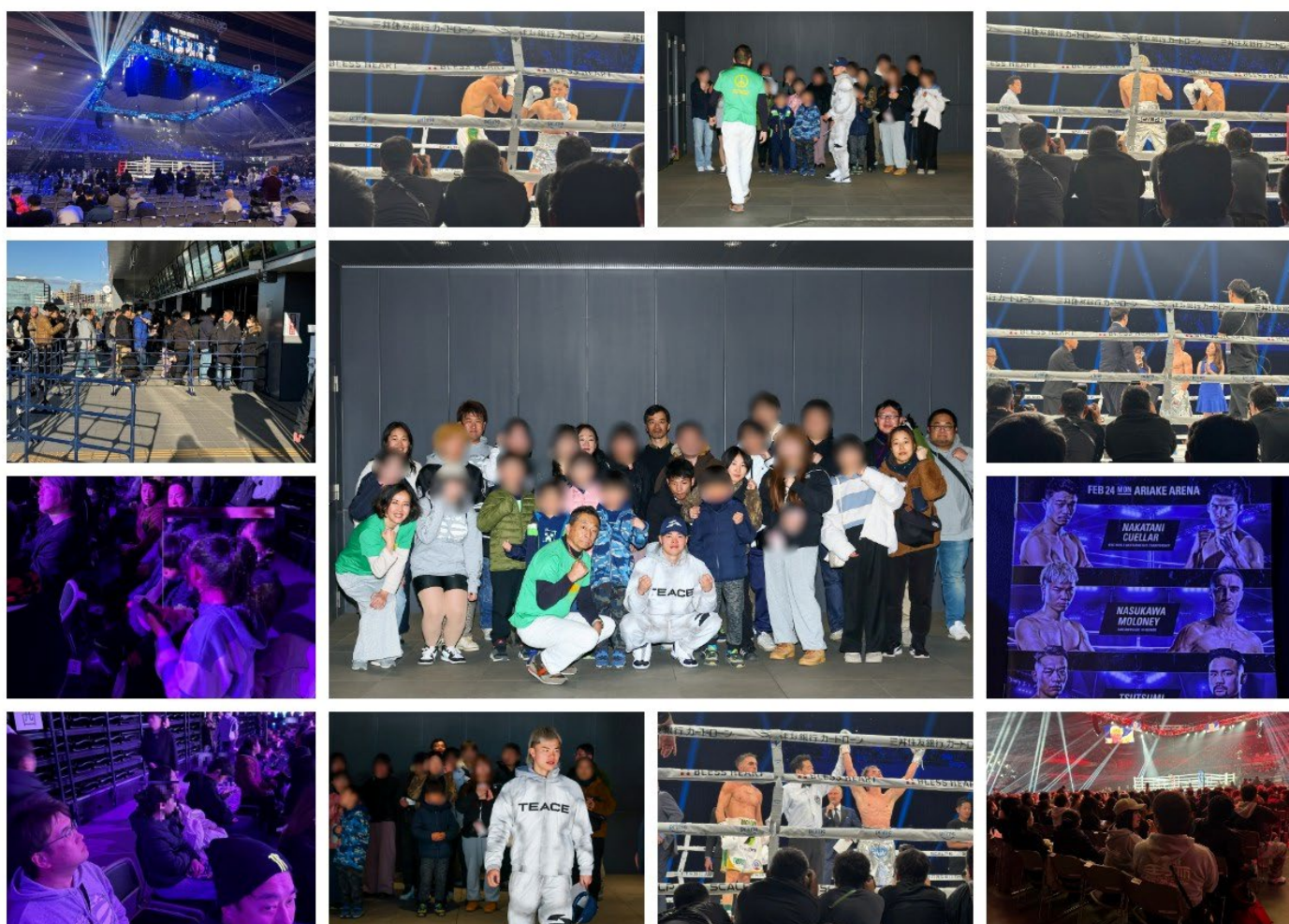
那須川天心選手とピースプロジェクトの共同企画『天心ファミリープロジェクト』を有明アリーナで開催しました。

那須川天心選手がキックボクシング時代（2018 年）から続いている子ども支援活動で養護施設やファミリーホームで暮らす子どもたちにキックボクシングやボクシングを観せて、天心選手が直接子どもたちとふれ合いながら『人生には色んな選択肢があり、夢や希望を忘れないこと、諦めない事が大事』と言うメッセージを伝えてくれています。

今回も茨城、千葉、東京、神奈川の施設から 50 人参加してくれました。

試合前で本来なら緊張高まるところにもかかわらず、今回も天心選手は明るい表情で子どもたちと触れ合ってくださいました。

天心選手、那須川弘幸さん、カメラマンの長尾さん、岡本マネージャー、いつも本当にありがとうございます。



2025 年 3 月 9 日（日）第 53 回目ピース食堂開催しました

場所：東京都足立区『博多もつ鍋げってん』

協力：ボランティアの皆さん、足立区子ども食堂支援協議会

提供数 130 食

（活動総累計 563 回、140,488 人）

本日のメニューは池尻大橋にある『らーめん香月』の香ばし醤油ラーメンです。

これは昨年能登半島大震災の炊き出しメニューとして珠洲市でも提供して大人気だったのですが、昨年 9 月にピース食堂で提供した際にチャーシュー、煮卵等トッピングをケチってしまい、結果“別の味”のラーメンにしてしまった“リベンジマッチ”です。なので、今回は池尻大橋本店の具材を揃えて提供させていただきました。

写真でご覧のように彩り含めて美味しいラーメンが提供出来たと思います。

最近、お店の中で食べていただく機会も増えたのですが、「こんな美味しいラーメン初めて食べたよ!!」と言ってくださる方もいらっしゃいました。今回のラーメン提供にあたっては東京・大森にて創業 124 年の老舗海苔店「守半海苔店」様より「ラーメンにぜひ海苔をどうぞ」とご寄贈いただきました！ありがとうございます！

さらに整理券をお待ちいただく間に『白玉ぜんざい』をお出ししました。これは東洋食品様からのご寄贈です。ありがとうございました。

アスリートは先日の RISE で活躍した『チャッピー吉沼選手』とタンタンファイトクラブのゲンさんに来てもらい、子どもたちを楽しそうに遊ばせてもらいました。リング上とは違い優しい顔のチャッピー選手の一面が楽しそうでした。今回も早坂さん、みよちゃんさんからお菓子の提供をいただきました。いつも本当にありがとうございます。



2025年3月14日（金）、15日（土）『第5回ピースパントリー（フードパントリー）』を実施しました

場所：東京都足立区周辺

事業協賛：NPO 法人むすびえ（子ども家庭庁「令和6年度ひとり親家庭支援事業」）

協力：ベル訪問介護ステーション、やんちゃーず五反野、ケアろぐ、足立みんなの家、地域包括支援センター伊興、・スーパーベルクス西新井西店、花鮮

受益者 80人（31世帯）提供【食材ボックス、お米2kg、野菜と季節の果物】

（活動総累計 564回、140,568人）

3月と思えない陽気の晴れやかな週末、第5回ピースパントリーを実施しました。

手探りでスタートしたパンとリーでしたが、だいぶ体制が整ってきたこともあり、今回は障害を持つお子さんがいる子育て世帯を中心に、生協のパルシステムさんを活用してみました。

配送すると思ったより大変だったお米を頼んでみたいことと、熱い時期のパントリーをどう進めていくか、のトライアルでもあります。コメ不足がいわれていて“生協のお米”は抽選とのこと。それを救ってくれたのが買い出し先のスーパーでした。「どうにかそろえて～」というお願いを聞いていただき、無事に全世帯分のお米を用意することができました。

配送作業の準備では今回も「いくよー！」と快く参加してくれたママたち、私が障害を持つ子どもたちには何がどう必要なのか、どんなことが困るのがわからずに相談してみると、「聞いてくれてうれしい」と話してくれる、とても頼りになるママたちです。

生協を頼んでいるとはいっても、仕分ける品はそれなりにあって、中腰での作業は大変なはずなのに、てきぱきと作業してくれます。この日野菜を市場からトラックで運んでくれたのはピース食堂でボランティアもしてくれた、「うっちー」でした。「お届けまでが仕事ですから」とプロ意識高く野菜のコンテナと品物が入った保管コンテナを入れ替えてくれました。金曜日は各施設にお届けするのに、私一人でお届けなので、配送前の力仕事を担ってくれる人がいるのはとても助かります！！



2025年3月22日（土）23日（日）『アウトサイドフェスティバル』に参加しました。

場所：東京都新宿区『新宿中央公園』

協力：有限会社ダディーズオピニオン、アウトサイドベース

受益者 0人

（活動総累計 565 回、140,568 人）

毎年恒例となっている新宿中央公園で開催された『アウトサイドフェスティバル』にチャリティ参加いたしました。

イベントを主催される有限会社ダディーズオピニオン様とは東日本大震災以前からのつながりがあり、東日本大震災や熊本地震、西日本豪雨災害等でもお手伝いをいただけてきました。

今回も株式会社イングラム、その他の協賛企業様からサンプル品譲り受けチャリティ販売させていただきました。特にカレッジ系のアイテムは人気があって、補充が間に合わないほど好調な売れ行きでした。

中にはわざわざ京都から大きなスーツケースを持参して大量に買い込んでいただく支援者様もいらっやって、ピースプロジェクトの活動を支えていただいていることをあらためて実感させていただきました。



2025 年 3 月 29 日（土）『RISE ファミリープロジェクト』を開催しました

場所：東京都墨田区『両国国技館』

協力：RISE クリエーション、テッペンジム、長尾カメラマン

受益者 30 人

（活動総累計 566 回、140,598 人）

今日は両国国技館で開催された『RISE Eldorado』で『RISE ファミリープロジェクト』を開催しました。児童養護施設やファミリーホームで暮らす子どもたちに格闘技を見せて勇気や希望を持ってもらう事、諦めない気持ちを感じてもらう事を伝えたいと考えています。今日も試合前の大切な時間にもかかわらず、テッペンジムから那須川龍心選手、白鳥大珠選手、Gump 選手、那須川弘幸会長、そして中村寛選手、YA-MAN 選手が撮影会に参加してくれました。ご招待いただいた RISE 伊藤代表はじめ関係者の皆さま、撮影していただいた九島さんありがとうございます。

心から感謝申し上げます。

そして、ピースプロジェクトの活動に参加してくれている金沢 LA ジムの藤田ルカ選手がこの大会でプロデビューし、見事に KO 勝利をあげました。ルカ選手は試合後に参加してくれた子どもたちと記念撮影に応じしてくれました。そして、ファミリープロジェクトからプロを目指す 2 人目の若いキックボクサーが生まれました。29 日当日の朝にアマチュア大会に参加したそうです（結果は残念ながら KO 負けだったそうです）。本日の参加者は 30 名でした。

